

# 千里の道も一歩から

令和4年度  
豊能町立東能勢中学校  
進路通信 NO.13  
9月30日  
発行者:松岡



## 事実か意見か



9月26日(月)の道徳の時間に、「事実蚊意見について」を行いました。「蚊は……」に続く文章を完成させ、その文章から事実とは何か。意見とは何かを考えました。

事実とは、「本当にあったこと、現実存在する、調査・実験・検証などで必ず確認できること」

意見とは、「誰かの考え・憶測、誰かの判断」

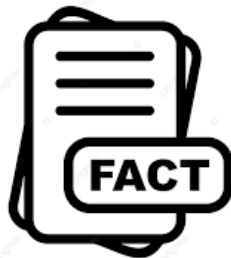
と、みなさんで確認しました。

その後、下のようにならかじめ用意していた蚊についての文章が、事実か意見かを班で考えました。わかりやすいのから、わかりにくいものまであり、みなさん悩んでいましたね。

		事実	意見
A	すべての蚊は、病気を媒介する。		
B	蚊は、世界に約3500種いる。		
C	すべての蚊は、血を吸う。		
D	血を吸うのは、オスの蚊だけである。		
E	蚊に刺されるとかゆくなる。		
F	蚊は、気持ち悪い。		
G	蚊は草むら・やぶなどの水がたまりやすいところに多くいる。		
H	蚊は、ボウフラから脱皮を4回くりかえしサナギになり、3日ほどで成虫になる。		
I	蚊は、必ず水場に産卵する。		
J	蚊は、O型を好んで刺す。		

今回の道徳での感想文を、下に一部抜粋して載せています。

- ・ 事実と意見では意味が違うことが分かった。これから先も誰かの意見ではなくて、自分の意見をもってすごそうと思った。
- ・ あまり憶測だけで決めるのはよくないと思った。自分の意見だけでなく、“事実”を大切にしようと思った。



- ・ 世の中は、事実や意見がたくさん紛れていることが分かったから、それを判断できるようになろうと思った。
- ・ 日常でSNSをよく使うから、少し考えて色々見ようと思った。
- ・ たまに人の意見を聞いて、自分の意見が揺らぐことがあるからそういうときこそ自分の意見を貫きたい。
- ・ この先、高校を選ぶときは意見じゃなく、自分で事実を確かめようと思った。
- ・ 世界にはすべてが事実ではなく、意見もあるのだと思った。
- ・ やっぱり意見だけではわからないことがあると思った。
- ・ 事実と意見はすごく難しい。
- ・ 事実なのか意見なのか考えて生活したい。
- ・ 人の意見に騙されないようにしようと思った。
- ・ 自分が持った意見と相手の意見が違うことがある。それを理解した上で暮らそうと思う。
- ・ 事実だと思っていても意見だったり、自分が考えていたことが本当ではないから、高校を決めるときは、自分の意見をもって決めようと思った。
- ・ 事実と意見をしっかりと分けて考えることが大切だと思った。ネットの情報でも事実だと思っていても本当は意見だったりするんだなと思った。
- ・ これから事実と意見を見分ける力が必要だなと思った。他人の意見ばかりでなく、自分の目で事実を確認しようと思った。



今回の授業を通して、これから生活していく中で、意見か事実かがわからないものにたくさん遭遇します。もしかしたら、事実と意見が入り混じったものの方が多く出会うかもしれません。

これから先、みなさんは多くの進路選択をしていかなくてはなりません。その選択をする上で参考にする材料が意見なのか事実なのか、または、どこまでが意見でどこからが事実なのかを見極める必要があります。「〇〇さんが言っていたから…」、「△△さんが楽しそうだから…」ではなく、実際に自分で経験・体験してみて、事実を確認したうえで、進路選択をしてください。

進路選択の初めの一歩として、1学期から言い続けていますが、オープンキャンパスや説明会などに実際に参加し、その場所の雰囲気や空気感を感じ、事実を確認してください。

今日で9月も終わりになります。みなさんは残り半年で、東能勢中学校を卒業し、次のステージへと進みます。もう時間は限られています。来週に迫った合同運動会もこれからの自分の進路も、悔いのないように、できることを自分で考えて、一生懸命行動していきましょう。

